

初雪の恋

ヴァージン・スリー

逢いたくて、
逢えなくて、
逢いたくて。

イ・ジュンギ 宮崎あおい

塩谷 瞬 森田彩華 柳生みゆ 乙 葉 余 貴美子

製作: 黒井和男、Jonathan Kim
共同製作: Kim Joo-Sung
エグゼクティブ・プロデューサー: 中川源弘、Park Jong-Keun
プロデューサー: 橋 宣和、杉崎隆行、水野純一郎
ラインプロデューサー: Kim Sung-Soo

撮影: 石原 興 / 照明: 土野宏志 / 美術: 犬塚 進、Kang Seung-Yong / 装飾: 木下 保
録音: Song Jin-Hyuk / 音楽: Chung Jai-Hwan / 編集: Kyoung Min-Ho
助監督: 井上昌典、Oh Hye-Sung / 製作担当: 阿曾芳則

主題歌: 森山直太郎「未来 ～風の強い午後に生まれたソネット～」(UNIVERSAL MUSIC)

脚本: 伴 一彦

監督: Han Sang-Hee

製作: 角川映画、Dyne Film
共同製作: CJ Entertainment
製作協力: 松竹京都映画

配給: 角川映画

hatsu-yuki.com



京都、ソウル。
ふたつの心が
めぐり逢う。

とびきりピュアで、ちょっぴり“和”な恋の物語

新世代の国民的女優

宮崎あおい

韓国一「美しい男」

イ・ジュンギ

心の琴線をふるわす歌声

森山直太朗



Introduction

「初雪の日にデートした恋人たちは幸せになる」、そんな韓国・ソウルの恋人たちの間で信じられている素敵な言い伝えから生まれた、切なく一途な恋の物語。主人公・韓国からの転校生ミンを演じるのは、『ホテルピーナス』で注目され『王の男』でトップスターに躍り出た、韓国一「美しい男」イ・ジュンギ。どこか寂しげな表情の清楚な少女・七重を、自然体で瑞々しく演じるのは、『NANA』『ただ、君を愛してる』等の宮崎あおい。テレビ小説『純情きらり』で朝の顔となり、新世代の国民的人気女優の

地位を確立した。二人の俳優の透明感と、物語の舞台である京都とソウルが持つ空気感を卓越した映像センスでスクリーンに焼き付けたのは、映画初監督にして実力派の新人ハン・サンヒ監督。南禅寺や風光明媚な嵐山、祇園祭など、四季折々の古都・京都の景色は目が覚めるほど美しく、時に日本人以上に日本らしさを切り取ってみせる。そして、主題歌を担当するのは、叙情的な歌で女性に圧倒的な支持を集める、シンガーソングライター森山直太朗。本作のために自ら書き下ろした新曲が、さわやかにエンディングを飾る。恋するすべてのひとの胸にせまる、今年一番のラブストーリー。



「初雪の日にデートした恋人たちは幸せになる」

そんな言い伝えを あなたは知っていますか—?

Story

父親と同行して、日本に転校することになった高校生のミン(イ・ジュンギ)。自転車に乗って京都の街を走り回った春の日、ミンは神社で巫女姿の七重(宮崎あおい)と出逢う。澄んだ瞳の少女にひと目ぼれするミン。彼女は、偶然にもミンが転校した学校の生徒だった。つたない日本語で必死にアプローチするミンに七重も最初は戸惑うが徐々に心を開いていく。授業を抜け出した夏の日、陶器店に立ち寄った二人は、いつか陶芸家の息子であるミンが作った器に七重が絵を描くことを約束し合う。そして、初雪の日にソウルの石垣道を一緒に歩くことも。しかし、祇園祭の宵山の日を境に、七重は突然ミンの前から姿を消してしまう。絵画作りの約束も、初雪の日には達う約束も、叶えられないまま——。

(2007年/カラー/ビスタサイズ/ドルビーデジタルSRD / 101分)

“生まれ変わったとしても もう一度逢いたい”

なかなか面と向かって言えません。なので歌にしてみました。
この歌や映画を通じて、そんな風に想える人を想像していただけたら
これ幸いです。

歌とボランチ 森山直太朗

初雪の恋

ヴァージン・スノー



5月ロードショー!

前売鑑賞券¥1,300好評発売中!

劇場窓口にてお買い求めの方に限りオリジナル・クリアファイルプレゼント!

(限定品につきお早めに!)

伊勢丹本館前・明治通り側(旧新宿文化シネマ)

新宿ガーデンシネマ

03(5361)7878

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり

恵比寿ガーデンシネマ

03(5420)6161 定員制・入替制

★ガーデンシネマは水曜サービスデー! 男女とも¥1,000均一